

## 平成 28 年度各部会の活動状況と平成29年度各部会の取り組み

### 【こども部会】

委員12名【こども医療福祉センター、特別支援学校、県央保健所、主任児童委員連絡協議会、指定特定相談支援事業所、児童発達支援センター(2か所)、障害児療育等支援事業所、親の会(1か所) 保育所、健康福祉センター、学校教育課、事務局(障害福祉課)】

課題	障害児に関する課題は広範囲に亘るため、今年度検討するテーマを決めて活動を行う。 ① 障害児通所事業所は年々増加しているが、適切な利用ができていないか。ただの預かりや学童クラブの代わりに使われていないか。 ② 個別の教育支援計画や放課後等デイサービス計画の連携等、学校と事業所が積極的に連携を図ることが必要であるが、それぞれのやり方の違いからうまく連携が取れない場合がある。 ③ 医療的ケア児とその家族を地域で支えられるように、課題の整理や協議が必要。
----	--

	活動計画	活動状況・取り組み
平成28年度  (部会開催 13回)	重点テーマ ① <u>放課後等デイサービスに関すること</u> ・ 事業所の質の向上のための「放課後等デイサービスガイドライン」の活用。 ・ 「障害児通所支援事業所ネットワーク」の支援。 ② <u>教育との連携に関すること</u> ・ 個別教育支援計画(教育側の計画)と放課後等デイサービス支援計画、保育所等訪問計画(福祉側の計画)の連携のあり方を検討。 ③ <u>医療的ケアを要する障害児への支援に関すること</u> ・ モデルケースを通して、支援についての課題を検討。 「こども支援相談会」の開催、相談用パンフレット等の作成。	① <u>放課後等デイサービスに関すること</u> ・ 各事業所のネットワークづくりや情報共有の場を作ることで地域全体でより質の高いサービスの提供を目指すために、児童発達支援センターが中心になって「諫早こどもデイネット」を立ち上げ、こども部会はその支援を行っている。 ・ 今年度は、放課後等デイサービスガイドラインの利用についての意見交換や、こども支援相談会の準備、「保育所等訪問支援事業」勉強会、こども医療福祉センターコーディネーターを講師に「保育所等への支援マニュアル」について研修会を行った。 ② <u>教育との連携に関すること</u> ・ 市内の障害児通所支援事業所と学校等の連携がスムーズに進めるよう、手順や様式を統一した「諫早市こども支援連絡票」を検討し作成。平成29年度に利用開始できるよう、準備を行っている。 ③ <u>医療的ケアを要する障害児への支援に関すること</u> ・ 災害時の支援の課題を整理するために、長崎市作成の「災害時個別支援計画」(長崎市承諾)を使い、医療的ケア児2人を訪問し聞き取りを実施。 ④ <u>「こども支援相談会」の開催</u> ・ 今回で4回目になるこども支援相談会を10月19日に開催し、116人が参加。15事業所が活動内容を紹介し、その後相談会を行った。 ⑤ <u>相談用パンフレットの作成</u> ・ 送迎や見学、医療的ケア児や車椅子利用児の受入等の情報提供のための障害児通所支援事業所のパンフレットと、「ちょっと気になるちょっと心配な時に相談してみませんか」リーフレットを作成し、相談窓口等に配布。
平成29年度	① <u>放課後等デイサービスに関すること</u> ・ 事業所の質の向上のための「放課後等デイサービスガイドライン」の活用。 ・ 「諫早こどもデイネット」の支援。 ② <u>児童発達支援に関すること</u> ・ 事業所の質の向上のための「児童発達支援ガイドライン」の活用。 ③ <u>教育との連携に関すること</u> ・ 「諫早こども支援連絡票」の活用の推進。 ④ <u>医療的ケア児への支援に関すること</u> ・ モデルケースを通して、支援についての課題を検討。 「こども支援相談会」の開催、相談用パンフレット等の作成。	① <u>放課後等デイサービスに関すること、児童発達支援に関すること</u> ・ 「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」を活用し、諫早こどもデイネットで事業所間で意見交換している。 ・ 「諫早こどもデイネット」の支援 部会と諫早こどもデイネットの情報共有 9/26に子育て相談会開催(小野ふれあい会館) ② <u>教育との連携に関すること</u> ・ 「諫早こども支援連絡票」の活用。 4月から小学校、中学校・高校、7月から幼稚園・保育園との連絡票のやり取り開始。 ③ <u>医療的ケア児への支援に関すること</u> ・ モデルケースを通して、支援についての課題を検討。 ④ <u>資料集の作成</u> 子どもの発達に関する様々な制度や関係機関等の情報を集約し、相談支援事業所等に配布。